

平成30年 第3回定例会

陳情文書表

平成30年陳情第1号	佐貫駅のホームと電車の隙間の早急な対策を 求める陳情書
平成30年陳情第2号	300人規模のホール設置を求める陳情書

陳 情 文 書 表

陳 情 名	佐貫駅のホームと電車の隙間の早急な対策を求める陳情書
受 理 番 号	平成 30 年陳情第 1 号
受 理 年 月 日	平成 30 年 8 月 28 日
陳 情 者 の 住 所 ・ 氏 名	龍ヶ崎市白羽 4 丁目 4 番地 18 新日本婦人の会 龍ヶ崎支部 支部長 本郷 千恵
付 託 委 員 会	環境生活委員会
<p>【陳情趣旨】</p> <p>佐貫駅のホームは立地条件により、カーブがあり、電車との隙間が大きくあいています。十数年前には電車から降りた男の人がスポッとその隙間に落ち、そのまま這い上がってきたのを見た時には大変びっくりしたものです。その後「こわいよね」「危ないよね」とあちこちで話は出るものの、「カーブがあるから無理なんじゃない」「ホームを移動させるには莫大なお金がかかる」と、なんら解決せず今日までできてしまいました。「ベビーカーで降車するときにとても怖い思いをした」と、若いお母さんから最近聞きました。</p> <p>調べてみますと全国各線多くのところでこの隙間落下問題には頭を悩ませ、対策を考えているようです。</p> <p>例えば阪急電鉄では点状ブロックなどを製造する会社とホーム線路側の先端部分と列車との空いた隙間を縮める部材「スキマモール」を共同開発し、2013年度から、駅に設置しました。この「スキマモール」は、先端が櫛状になっている樹脂製の部材です。2013年度の実績では列車とホームの隙間を最大で6.5cm縮めることができたそうです。</p> <p>事故がおき、報道されてから対策を考えるのではなく、一日も早くなんらかの方法で危険を回避して頂けることを強く要望いたします。</p> <p>【陳情事項】</p> <p>1. 櫛状ゴム（スキマモール）などを設置し、早急に電車とホームの隙間を縮めるようJR東日本に強く働きかけて下さい。</p>	

陳 情 文 書 表

陳 情 名	300人規模のホール設置を求める陳情書
受 理 番 号	平成30年陳情第2号
受 理 年 月 日	平成30年8月28日
陳 情 者 の 住 所 ・ 氏 名	龍ヶ崎市白羽4丁目4番地18 新日本婦人の会 龍ヶ崎支部 支部長 本郷 千恵
付 託 委 員 会	文教福祉委員会
<p>【陳情趣旨】</p> <p>龍ヶ崎市の文化芸術の向上を推進するために、文化会館が建てられてから33年。映画会、講演会、演劇などに私たちも大いに利用しています。</p> <p>市民団体やサークルも増え、多才な活動をしております。あわせて活動の発表や上映会、講演会などを開催することも多くなり、会場として300人位の規模の多目的に利用できるホールがほしいとの声があちこちから聞かれます。</p> <p>市長さんも市民の声を聞く中で、要望は強いとの認識をもっているそうです。</p> <p>文化会館小ホールの改修や、使用されなくなった学校の改築などで中規模のホールを作ってください。</p> <p>近隣市町村の例をあげると土浦市民会館・小ホールは342席、エスカード生涯学習センター・エスカードホールは253席、つくばカピオ・ホールは384席です。どれもステージがあり、階段状になった多目的に使えるホールです。土浦のウララにある中ホールは椅子がそのまま階段状の収納式になっています。</p> <p>龍ヶ崎市の文化向上のため市民が強く望んでいる中ホールの設置を要望いたします。</p> <p>【陳情事項】</p> <p>1. 舞台があり、階段状になっていて映画鑑賞にも適した300人位の規模の中ホールを作ってください。</p>	